

発行所
長野県保険医協会
〒380-0928 長野市若里 1-5-26
電話 026-226-0086
FAX 026-226-8698
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp
年間購読料 3,600円
会員の購読料は会費に含まれています



2020年(令和2年)5月25日
No.471 (毎月1回25日発行)
(1990年6月22日第三種郵便物認可)
主な記事
新型コロナ経営支援/2020年改定歯科部
会見解…2面、歯科指摘事項…3面、保険
かわら版/理事会便り…4面

公立・公的病院の再編統合問題 記者会見 病院との懇談内容を報告、白紙撤回を求める

県保険医協会を含む7団体が加盟する「地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会」(以下、連絡会)は、5月12日に共同記者会見を行い、再編・統合の対象として名指しを受けた県内の病院とのこれまでの懇談内容を報告し、計画の白紙撤回を求めた。連絡会は今年1月から3月にかけて、名指しを受けた県内15病院の内11病院の院長や事務長と懇談を行った。その内容として、再編・統合要請に対し「心外だ」「困惑している」としたうえで、これまでに各病院間で地域医療提供体制について調整会議を行ってきた実績があることや、地域特性を無視した一時的な診療実績データによるリスト作成基準を挙げ「納得ができない」「統廃合するつもりはない」という意見が出たことが報告された。

連絡会の加盟団体の各代表者はこの懇談を通じ「地域のことは地域で考え地域で決めているという姿勢が明らかになった。地域医療構想を進めるのであれば、住民を含めた調整会議の中で協議を重ねていくことが本質だろう。今回の公表はこれまで積み重ねてきた議論に水を差し住民に不安を与えただけであり、非常に問題があると考えられる。現在の新型コロナウイルス感染症のパンデミックの状況を見ても、公立の名のもとに医療の提供体制を削



記者会見に臨む連絡会

県保険医協会は4月に関東信越厚生局長野事務所に対し、選定委員会と2020年度の指導計画に関する開示請求を行った。これまでに開示された資料から本年度の基準平均点数について紹介する。右表は開示資料を基に本紙で作成したもの。指導計画に関しては、2月25日に選定委員会が開催されており、開示されたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りに実施されるかは不明とされている。なお、指導

計画は次号以降に掲載予定。基準平均点は、集団的個別指導や高点数個別指導の対象となる医療機関を選定する際の基準となるもので、病院の場合は県平均点数の1.1倍、診療所では県平均点数の1.2倍の値とされている。集団的個別指導は、類型区分ごとに平均点数が高い医療機関が対象となり、上位8%以上、かつ基準平均点を超えている医療機関。高点数個別指導は前々年度に集団的個別指導を受け、前年の平均点数が上位4%以上、かつ基準平均点を超えた医療機関が対象となる。類型区分は、病院は病院機能ごとに3区分、診療所は医科は診療科ごとに12区分、歯科は1区分とされている。医科診療所の内科については、①人工透析を行うもの、②在宅療養支援診療

ば、いざという時にどんなに深刻な事態になるのかは明らかだ。将来を見据えた賢明な判断を求めたい」と発言し、3月19日に県に提出した国への要望書▽国に対し、440病院のリストと「再検証」の白紙撤回を強く求める▽国は、地域医療を守るため、県内15病院を含むすべての県内医療機関の存続および一層の充実と、医師・看護師などの確保をすすめ、地域住民が医療を受ける権利を保障する施策を強めること▽国は、「いつでも、どこでも、だれでも」必要な医療が受けられる供給体制を整

備すること。またそのための財政措置を講じること、の3点について再度求めた。



懇談内容を報告する宮沢会長

また、連絡会は今後の活動として、残りの3病院(4病院の内1つはすでに合併済み)との懇談の場を設けること、新型コロナの影響で中止となった県民シンポジウムを再度計画し、県民へ問題の可視化をしていくこと、9月までに国へ要望書を直接提出し意向を伝えていくこと、全国連絡会と連携し運動を強化していくことを発表した。

所を届け出ているもの(人工透析を行っているものを除く)③その他(呼吸器科、循環器科、リウマチ科等を含む)に区分される。

表. 2020年度平均点数と基準平均点一覧

類型区分	平均点数 (医科診療所は補正後の平均点)	基準平均点		
		今回	参考	
			2019	2018
病院				
一般病院	52,710	57,981	57,045	55,441
精神病院	37,535	41,286	40,790	40,324
臨床、大学、特定	62,132	68,345	67,052	65,690
医科診療所				
内科(その他)	1,089	1,307	1,278	1,333
内科(支援診)	1,257	1,508	1,488	1,517
内科(透析)	7,329	8,795	9,013	8,988
精神・神経科	1,127	1,352	1,375	1,394
小児科	832	998	950	966
外科	1,279	1,535	1,510	1,541
整形外科	1,070	1,284	1,258	1,306
皮膚科	586	703	688	696
泌尿器科	1,368	1,642	1,696	1,730
産婦人科	933	1,120	1,093	1,106
眼科	935	1,122	1,090	1,070
耳鼻咽喉科	661	793	786	816
歯科	1,130	1,356	1,381	1,379

平均点数については基本的には医療機関の明細書1件あたりの平均だが、医科診療所のうち院外処方医療機関に対しては、実際の平均点数にある程度の点数を上乗せする「補正」を行い、その補正後の平均点数のことを指す。自院の平均点数が知りたい場合は厚生局へ問い合わせれば知ることができる。開設者又は管理者が直接関東信越厚生局(長野事務所)へ電話で問い合わせる。本人確認の後、各医療機関の「類型区分」と「(補正)平均点数」が折り返し回答される。

平均点数の算出は前年4~9月 保団連の開示請求により平均点数算出の対象レセプトは昨年同様、前年4月から9月までのものであることが明らかになった。

今年になってから今も続くコロナ禍(COVID-19)で、医療現場も国民の生活も世界規模で今まで経験したことのない大惨事の中、地球規模での喘ぎと苦しみに多くの人が嘆息を繰り返している。◆中国に端を発し、アジア圏を飛び越えてヨーロッパ諸国で猛威を振るい、アメリカ合衆国が一番の被害を被っている現在、中国やアジアでは、日本を除いて収束しつつある様な報道があるが、何故にこれほどまでに各国での被害状況や対応が違うのだろうか? それにしても日本の政府の対応の粗末さは、海外でも話題や不思議がられている現状がある。◆今後の国民の生活や医療資源を考えた中でPCR検査が進まない本原因はどこにあるのか? 不思議な力が働いているのか? だとすれば、それを取り除かない限り将来の国民生活や子供たちの未来が危ないものとなるであろうことは誰にでも想像できることではないだろうか? 今回のコロナに限らず過去にもウイルスでの被害に何度も襲われ、その都度何とか人間の知恵と免疫力で克服してきたが、将来も今回と同じように切り抜けるかどうかわからない。その時に今回の経験が役立つためには、積極的な疫学調査や最大の規模でのPCR検査との関係で感染経路の分析と予防法の確立ではないだろうか? ◆人命が懸かっていると医療現場への予防器材や検査体制に制限や条件を付けて行うとは、人命軽視も甚だしいと同じで、人命軽視も甚だしいと言わざるを得ない! 如何なものか? (風見鳥)



今年になってから今も続くコロナ禍(COVID-19)で、医療現場も国民の生活も世界規模で今まで経験したことのない大惨事の中、地球規模での喘ぎと苦しみに多くの人が嘆息を繰り返している。◆中国に端を発し、アジア圏を飛び越えてヨーロッパ諸国で猛威を振るい、アメリカ合衆国が一番の被害を被っている現在、中国やアジアでは、日本を除いて収束しつつある様な報道があるが、何故にこれほどまでに各国での被害状況や対応が違うのだろうか? それにしても日本の政府の対応の粗末さは、海外でも話題や不思議がられている現状がある。◆今後の国民の生活や医療資源を考えた中でPCR検査が進まない本原因はどこにあるのか? 不思議な力が働いているのか? だとすれば、それを取り除かない限り将来の国民生活や子供たちの未来が危ないものとなるであろうことは誰にでも想像できることではないだろうか? 今回のコロナに限らず過去にもウイルスでの被害に何度も襲われ、その都度何とか人間の知恵と免疫力で克服してきたが、将来も今回と同じように切り抜けるかどうかわからない。その時に今回の経験が役立つためには、積極的な疫学調査や最大の規模でのPCR検査との関係で感染経路の分析と予防法の確立ではないだろうか? ◆人命が懸かっていると医療現場への予防器材や検査体制に制限や条件を付けて行うとは、人命軽視も甚だしいと同じで、人命軽視も甚だしいと言わざるを得ない! 如何なものか? (風見鳥)